

平成30年度
環境プロジェクト助成

応募要項

テーマ

アジア・オセアニア諸国・地域における水や緑をテーマにした
自然環境の保護や整備を目的とする支援事業

募集期間

平成29年6月12日～平成29年8月31日(必着)

※応募した場合は、申請書の写し1部を総務係まで提出願います。
また、採択された場合は『採択決定通知等の写し』を総務係まで提出願います。
経費につきましては、機関経理となりますので会計係にて手続きを行ってください。



公益財団法人
リそなアジア・オセアニア財団

助成の趣旨

当財団は、アジア・オセアニア諸国における自然環境の保護及び整備を目的とした環境事業を行っています。これは、アジア・オセアニア諸国における水や緑をテーマにした自然環境の保護及び整備等のプロジェクト並びにこれ等の活動を行う人たちに対する支援を行うものです。

自然環境の整備というと、大がかりな事業を考えがちですが、ちょっとした創意と工夫で、小さな活動でも大きな成果を生む事があります。地域の人たちを活動に巻き込む事、がその創意と工夫だと思えます。ちょっとした「きっかけ」で、あとは自発的に人々が活動や事業を継続していく。その「きっかけ」となる事、に助成できればと思います。別の言い方をすれば、小さな事が大きく育つことの「媒介 (mediation)」という事になります。地域の生活実態を無視した事業に「持続性」はありません。自然保護が、地域の人々の生活を守ることになり、さらには生活の質の向上につながる、そのような助成ができればと思います。

募集する助成対象

アジア・オセアニア諸国や地域における豊かな緑ときれいな水を守る事業
当該地域ですでに萌芽的な活動が行われ、応募者がすでに何らかの形で活動に関与している事業

助成の対象とならないもの

調査研究を主体とした事業
日本人の海外出張のみを目的とした事業
パソコン等機器類の購入費
学会等への出席に係る経費

助成金受給者の義務

当財団は、本事業を、当財団と助成受給者との協働作業と考えています。助成金受給者は当財団と『覚書』を締結し、これに基づき、終了後の会計報告書を提出して頂くと共に、簡潔な完了報告書の提出をお願いしています。

助成受給者に求めたいのは、事業開始前・途中で、事業計画や事業経過について、当財団とコミュニケーションを密接にすることです。(その為に財団と助成受給者の交流会を催す事も考えています。) 財団と助成受給者が交流を頻繁に行う事により、助成活動をよりよいものにしていきたい、と考えています。

<環境プロジェクト助成>

応募資格	(1) 日本の大学もしくは環境保全活動や支援活動を行なっている団体、会社等に所属する方からの推薦が得られる方(外国人も可。但し共同事業は日本人を代表者とする) (2) 活動地域(アジア・オセアニア地域)の現地において、当概事業の共同者(協力者)がいること
募集期間	平成29年6月12日～平成29年8月31日(必着)
決定時期(予定)	助成「申請書」による第1次選考(平成29年10月中旬) 面接による第2次選考(平成29年12月上旬) 最終助成決定(平成30年3月上旬)
活動期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
助成期間	1年～3年 (但し複数年の場合は、毎年度「申請書」を提出いただき、選考を受けるものとします。面接を実施する場合があります。)
助成実績 件数・金額	【平成29年度】 13件 [合計] 12,460千円
1人当りの 助成金額	50万円～100万円 ★金額は、活動の内容及び規模により、案件毎に査定いたします。
採否について	第1次選考…結果は申請者全員に <u>文書で通知</u> いたします。 (10月下旬予定) 第2次選考…平成30年3月(予定)の理事会にて最終決定され、 結果は2次選考対象者全員に <u>文書で通知</u> いたします。 (3月上旬予定)
応募方法	弊財団所定の「申請書」に必要事項を記入の上、弊財団宛 <u>書留便</u> にてお送り下さい。 (「申請書」書式は弊財団HPに掲載しております。ダウンロードして作成願います。) URL http://www.resona-ao.or.jp/project/promotion_application.html (注)送付の際は、「申請書(原本)」に「 <u>写し(A4)6部</u> 」(各部毎セットしたもの)並びに「 <u>返信用封筒</u> (角2号240×332mm 120円切手貼付・返信先を明記)」を同封願います。

◆留意事項

※ご提出いただいた「申請書」等をご返却いたしません。

※採否結果の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねますのでご了承下さい。

「申請書」送付先

公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団

〒541-0051 大阪府中央区備後町2丁目1番1号 第2野村ビル5階

電話 (06) 6203-9481

FAX (06) 6203-9666

E-Mail / info@resona-ao.or.jp

平成29年度 環境プロジェクト助成実績一覧表

	活動題目(企画名)	申請者	研究者所属	助成金額
1	フィリピン世界遺産「イフガオの棚田」の稲作耕作放棄と棚田崩壊をなくすための現地社会活動への支援	つじい ひろし 辻井 博	農村発展研究所 所長	500,000
2	インドネシア熱帯泥炭域(中央カリマンタン州パラカラヤ地域)の森林と水環境の保全のための環境教育の提案と実践活動の支援	こまい ゆきお 駒井 幸雄	大阪工業大学 工学部環境工学科 特任教授	1,000,000
3	インドネシア・エビ養殖地河川流域住民による環境整備活動	つる あきこ 津留 歴子	株式会社 オルター・トレード・ ジャパン社 産地責任者	1,000,000
4	ネパール・バグマティ川再生のはじめの一步、親子で学ぶ川の環境	なかた とよかず 中田 豊一	特定非営利法人ムラのミライ 代表理事	990,000
5	モンゴルにおけるサイレージ技術の導入を通じた自然災害への地域適応力の向上および防災・環境教育の普及、発展	す ちんふ 思 沁夫	大阪大学 グローバルイニシアティブセンター 特任准教授	1,000,000
6	モンゴル国ゴビ地域における牧畜民による砂漠化防止活動	なかむら ひろし 中村 洋	(一財)地球・人間環境フォーラム	1,000,000
7	ベトナム北部山岳に暮らすムオン民族と取り組む環境保全型の村づくり	いのう まゆ 伊能 まゆ	特定非営利活動法人 Seed to Table 理事長	1,000,000
8	インドネシアにおける「森の聞き書き」環境教育プログラムの展開—自立的な仕組み構築をめざして	しまがみ もとこ 島上 宗子	(一社)あいあいネット 副代表理事	1,000,000
9	スクールガーデンで学ぶパーマカルチャー：東ティモールの環境保全型農業の推進	いいつか のりこ 飯塚 宜子	京都大学東南アジア研究所 研究員	1,000,000
10	ジャカルタのため池再生のための水と緑の活動	みずの こうすけ 水野 広祐	京都大学東南アジア研究所 教授	1,000,000
11	森林火災からボルネオの森を市民で守る防災予防と環境保全活動	まるやま さちこ 丸山 幸子	F. C. Manis. (マニスファンクラブ) 代表理事	1,000,000
12	アラルの森プロジェクト	いしだ のりお 石田 紀郎	特定非営利活動法人 市民環境研究所 代表理事	970,000
13	北部タイにおける煙害防止	しのぎ よしゆき 凌 祥之	九州大学大学院 教授	1,000,000

助成金合計
13件 12,460,000円
(平成29年3月助成実施)